

新しい生活文化を発信する

アム

12/1

2001(平成13)年
年3回 8月・12月・4月 発行

NO.2

発行 / 立川市
編集 / 文化児童部女性総合センター
(〒190-0012)立川市曙町2-36-2
☎042-528-6801 FAX042-528-6805

伝えていく心豊かな暮らし

去る10月20日(土)・21日(日)快晴のなか、「第30回立川市みんなの消費生活展」が開催されました。折々のくらしの問題に取り組み、安全で安心してくらしを創るため各参加団体が、さまざまな提案や情報を発信しています。今、本当に必要なものは何かを選択する力をつけ、次世代へ伝えなければと思います。



◀ 1階展示会場
18の市民団体が、日頃の活動や研究の成果、くらしの提案、社会への問題提起などを展示発表していました。最近話題の遺伝子組み換え食品や有機野菜・食品添加物・輸入食材などについての「食の安全」をテーマにした展示内容は、マスメディアからでは得ることのできない情報ばかりでした。



開会式

開会式では、歴代の立川市消費生活展実行委員長の紹介があり、30年前から運動を支えてこられた努力が感じられた一幕でした。



おもちゃの病院

「子どもが気に入っているおもちゃなので、修理してもらえれば子どもも喜ぶと思って」と、壊れたおもちゃを持つてきた親子。物を大切にすることを子どものころから体験してほしいと思います。



100円カレーコーナー

手作りの福神漬け(野菜が8種類も入っている)がついて1皿100円。お昼どきになると行列ができるほどの人気コーナーです。



喫茶コーナー
◀ 骨密度測定
小物作り
コーナー ▶



情報満載!

当日配られた冊子は、参加団体の手作りです。

- ・食の安全とはなかに?
 - ・ご飯の食べのこし利用法
 - ・福神漬けと豆腐もちのレシピ
- など毎日のくらしに役立ちます。希望者は、アイムまで!



リフォームファッションショー



1階のホールで「捨てる前にもう一度古着を私だけのファッションに」と題してリフォームファッションショーが開催されました。着物やカーテンなどがベストやパーカーに変身。会場からも驚きの声が聞こえました。

消費生活ポスター展 (小・中学生の作品)



毎年応募作品の中から、消費生活展のポスターが作られます。未来をにう子どもたちが環境問題などに関心をもっていることに頼もしさを感じます。

「有機ってなあに？」コーナー



テーブルに並ぶ野菜は、すべて、立川市内で生産されたものだそうです。生産者と消費者の距離が近いほど、新鮮で安全な野菜が食べられます。

消費生活展30年間を

ふりかえって

はじまりは公民館

1960年代、池田内閣の所得増進政策のもと、日本は高度成長の時代に入りました。地方から都市への急激な人口の移動と、大量生産による商品の氾濫や公害の出現は、国民一人ひとりの生活や価値観を大きくゆさぶりました。当時、全国的な組織をもった運動として、戦後の生活改善運動を母体とした新生活運動が、広く国民の間に広がっていました。しかし単に「因習の打破」や「虚礼廃止」といった生活の部分的な改善や合理化だけの運動では、もはや十分に対応しきれなくなっていたのです。



消費者団体の展示発表

このような状況のもとで、全国に「生活学校」が誕生。立川市でも1966年の「立川市生活学校」を皮切りに、市内各地に次々と生活学校が生まれました。PTAのBである主婦が中心となった生活学校は、行政の支援を受けながら、くらしの中の身近な問題を解決するために、学習や実験に取り組みました。そこからいくつもの消費者のグループが生まれました。メンバーは都立短大へ出向いて防腐剤や合成着色料の検出実験に取り組むなど、専門的な学習も行っています。こうした学習の成果を発表する場として設けられたのが消費生活展でした。1回目は1972年、中央公民館で開催されました。

消費者運動の大きくなつて

翌年の73年、中東戦争が勃発。オイルショック、狂乱物価が世間を騒がせました。74年には、漬物や菓子類に使用されていたタール系合成着色料や、プラスチック可塑性のフタル酸エステルの検出、シヨウジョウバエを使ったAF2の遺伝影響実験などの成果が発表されました。AF2は食品殺菌剤として豆腐やハムなどに使用されていましたが、発がん性や突然変異作用が指摘されてこの年使用が禁止されました。75年の消費生活展では合成洗剤の毒性実験が話題になりました。海水を入れた水槽に合成洗剤やシャンプーを少量落とし、わずか数分でメジナが死んでしまう実験を見せて、合成洗剤の安全性を考えてもらうきっかけを作りました。その後、輸入果物の防カビ剤PP(酸化ビフェニール)



にぎわうフリーマーケット

や小麦粉の品質改良剤に使われる臭素酸カリウムなど、時々問題になった添加物が取り上げられました。学校給食のパンから臭素酸カリウムを追放する運動も盛り上がりました。現在臭素酸カリウムはほとんど使われていません。2回目から20年間消費生活展はデパートで開催されました。買い物に訪れた一般客に、消費者問題に関心を持ってもらうにはまたとない場所でした。デパートの催場でこのような市民主体の展示が長く続けないことは他市には見られないことでした。手作りのおやつや無料の喫茶コーナー、ミニファッションショーなども取り入れられました。9回目終了した81年に生活学校のほか、婦人団体連絡協議会(婦連協)や生活協同組合、リフォーム友の会なども加わって、消費者団体連絡会が結成されました。

安心、安全を求めて

消費生活展は、身近な消費者問題を学び、それを発表する場として定着していきましたが、学習の場として近くに都立短大があったことは非常に恵まれていたといえます。「今現在、危険は目に見えないけれど、子や孫の代の安全のために、長い目で人類の安全を考える必要がある」というのが指導者のひとり、岡博厚教授の姿勢でした。その指導のもとで、一貫して安全を求め、次の世代に安全な暮らしをひきわたしたいという思いが、毎年の消費生活展のテーマになりました。その中で、環境や安全を考えずに豊かさや利便さだけを求める社会全体の流れをかえるには到りませんでした。消費者の声が企業や行政を動かして改善されたものもあります。食品添加物への警告とともに、石けん運動は多くの消費者団体を取り組んだ課題でした。河川に流れ込む合成洗剤に含まれるリンなどが、生態系を破壊したり皮膚障害を起こしたりすることが問題となつて、この運動は全国に波及しました。

私の一言



消費生活展の会場で来場者のお話をうかがいました。

子ども連れだったので、展示をじっくり見ることができませんでした。子どもが遊べるコーナーみたいなのが、あるといいのになと思いました。(40代女性)

マンネリ化した生活に、この一日で新しい発見があり、とても楽しかったです。スタッフの皆さんご苦労様でした。(50代女性)

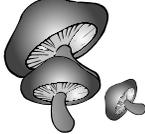
大変参考になりました。つい安い物に走る食生活をすごしていましたが、少々反省……。これからは、体によいもの地球にやさしいものを……。 (30代女性)

骨密度が測りたくてきたのですが、受付開始直後に行ったらすでに定数以上の人が並んでいて、受診することができませんでした。残念……。皆さん関心があるんですね。(60代女性)

来場者が期待したよりも少なかったように思います。行楽シーズンで催しが重なったことやテーマや展示に新鮮さが足りなかったのか……。次回以降の参考までに、入り口にタレ幕やイベント開催の案内などを用意できないのでしょうか。(60代男性)

毎年楽しみにしております。健康と地球環境を守るために、毎日の生活の中で一人ひとりがどのようにして生活していくか。工夫と知恵で安全なくらしを守り、いろいろなことに関心をもつことが大切だと思います。(50代女性)

はじめて来たのですが、展示のほかに手話ダンスやマジックの発表があったり、手作り教室や、100円カレーに喫茶室まで用意されているのに驚きました。来年は友人を誘ってきたいと思います。楽しかったです。(30代女性)



消費生活相談コーナー Q&A

その結果、80年の琵琶湖条例施行や環境基本法成立等の流れの中で、合成洗剤の無リン化が促進されました。無リン化でまったく問題がなくなつたわけではありませんが、河川は目に見えてきれいになりました。

Pは、発がん性や遺伝毒性を疑う声があり、それに応えて国産レモンやPP不使用のグレープフルーツが売り場にふえました。

多様な広がりをめざして

23回目をむかえた94年、女性総合センター・アイムが開館しました。消費生活展の舞台はアイムへ移ります。黙っていても来場者のいるデパートと違って、アイムの場所さえ知らない市民に呼びかけるには、さまざまな工夫が必要でした。100円カレ

ーや子どものポスター展などは、幅広い世代が消費生活展に足を運ぶようにそのとき生まれた工夫です。消費生活展は当初から参加団体が実行委員会を作って運営する形をとっています。く

また男性の間でも、生活者であるという意識が次第に広まりつつあり、消費生活展の参加団体や来場者の中にも男性の姿が見かけられるようになりまし

また、レモンやグレープフルーツなど輸入かんきつ類に使用されている防カビ剤 P

場所さえ知らない市民に呼びかけるには、さまざまな工夫

が必要でした。100円カレ

また男性の間でも、生活者

必要となつていきます。実行委

また、レモンやグレープフルーツなど輸入かんきつ類に使用されている防カビ剤 P

場所さえ知らない市民に呼びかけるには、さまざまな工夫

が必要でした。100円カレ

また男性の間でも、生活者

必要となつていきます。実行委

Q 新聞折込チラシに載っていたホームページ作成内職。電話で問い合わせ、今の仕事にも役立ち、副収入にもなると思ひ契約しました。ところが、送られてきた契約書をよく見ると、高額な教材ソフトの契約になっていたので解約したいと思ひます。どうしたらよいでしょうか。

A 契約書面を受け取った日から20日間以内のクーリング・オフ期間であつたため、クーリング・オフの書面を発信するよう伝えました。

【アドバイス】

このように、業者が提供または紹介する業務をすれば収入が得られるという勧誘により、その業務に使用するための商品や役務の契約をさせる取引を業務提供誘引販売といいます。パソコン入力などの内職商法や、着物や布団のモニター商法の被害が多発したのを受けて、2001年6月1日、法規制が加えられました。高収入が得ら



れるという取引システムが強い誘引力を持つため、マルチ商法と同様に熟慮期間を長く認め、20日間はクーリング・オフができます。収入を得たいと思ひ契約しても、勧誘時の説明通り、業者が仕事を紹介してくれるという保証はありません。契約する前には、高額な負担があるのか、商品の購入や前払い金の義務があるのかなどを慎重に検討しましょう。クーリング・オフ期間が過ぎてても、販売方法等に問題がある場合には解約できるケースもありますので、あきらめずに相談してください。

消費生活相談コーナー

立川市では、専門の消費生活相談員が皆さんの相談を受けてその問題解決や被害防止のためのアドバイスをしています。困ったとき、おかしいと感じたときには、ひとりで悩まずお電話ください。相談は無料、秘密厳守で行っています。

相談受付 月～金曜日
午前9時～正午
午後1時～午後4時
TEL042-528-6810

カウンセリング相談

毎日の生活の中で、苦しいこと、困っていること、どうしたらいいかわからないこと、ひとりで悩んでいませんか。専門のカウンセラーがあなたの悩みなどを整理したり、解決のための糸口を探してお手伝いをします。面接（要予約 TEL042-528-6801）と電話相談（TEL042-528-6802）があり、土曜日は電話のみの相談となります。相談は無料、秘密厳守で行っています。

相談受付 火・木・土曜日
午後1時～5時

気になる言葉



勧誘方針

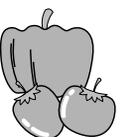
2001年4月から金融商品の販売等に関する法律が施行されました。「金融商品販売法」は保険会社や銀行、証券会社などの金融商品販売業者が提供するさまざまな金融商品、サービスをj利用する顧客を保護するためにつくられたものです。業者は顧客に金融商品を勧めるにあたって勧誘方針を策定し、公表しなければなりません。

勧誘方針には、次のようなことが盛り込まれます。消費者の知識や経験、資産や家計の状況に照らして

参加をうながし、多くの市民にアピールして、親しまれる消費生活展にしていくことが、安全な未来を作り出すうえで必要となつていきます。実行委員会へもぜひご参加を！



アイムでの初めての消費生活展



買ってすぐに階段から落として、タイヤがとれてしまったトラックが、おもちゃの病院の先生の手できれいに治って戻ってきました。感謝すると同時に、これからは子どもにも物を大切にすることを教えていかなければと思ひました。

（20代女性）



水道やゴミなど行政のコーナーは、展示とともに相談コーナーとしての意味合いを重視してもいいのでは。また、消費生活展という名称は生活者の視点でもっと親しみやすくしては……。

（40代男性）

勧誘すること。たとえば、退職金を老後の生活資金に充てようと思つている人に高リスクの商品を勧めてはいけません。勧誘方法や勧誘場所、時間帯などを考慮して勧誘すること。たとえば、断つてもたびたびというしつこい勧誘や、依頼していないのに夜の遅い時間帯に自宅を訪問するなどして勧誘してはいけません。

保険会社や銀行などには勧誘方針が掲示されているり、チラシが置かれているはずで、気をつけて見てください。

シエルター

一般には「避難場所」をさしますが、ここでは、DV（ドメスティック・バイオレンス）によって心身に傷を受けている女性が、配

偶者やパートナーから逃れるために一時的に身を寄せることのできる緊急避難場所をいいます。シエルターでは、安心して心身を休ませたり、自立の準備をするための、さまざまな支援を行います。1999年に総理府（当時）が行った調査では、およそ20人に1人の女性が夫婦間で命の危険を感じる暴行を受けたことがある」という結果がでました。現在、公設と民間のシエルターがありますが、その数は十分ではありません。民間シエルターは支援者によって支えられています。財政的な援助が必要とされています。

2002年4月1日から各都道府県にDV防止法に基づく配偶者暴力相談支援センターが設置され、一時保護業務を開始します。

立川・この人

一人十色の人生へ
一人ひとりが輝いてこそ社会が輝く



とまこ 深尾 凱子さん

1933年生まれ。錦町在住。34年間の読売新聞記者生活を経て、現在埼玉短期大学教授。豊島区立男女平等推進センター（エポック10）所長。男女共同参画会議専門委員。埼玉県男女共同参画苦情処理委員。男女共同参画社会づくり功労者として内閣官房長官表彰を2001年6月25日に受賞。

男女共同参画社会のバイオニアとして戦ってこられたと思いますが。

戦ったという気持ちは全くありません。新聞社という超男性社会で34年間仕事をしてきた中で、女性の視点からみてこれはおかしいと思ったことを記事に書いてきました。その延長線上に日本の男女共同参画社会の風土ができてきたと信じています。

同世代の女性の中で、大学から新聞記者へという道はまれではなかったですか。

確かに。私は読売新聞社に入社した4人目の女性ですが、その後17年間は女性の採用はありませんでした。同期入社20人のうち19人が男性。新聞読者の半分は女性なのに男性ばかりで新聞を作っているのかと思う、女性の視点から記事を書き続けました。私なぜジェンダーの視点に敏感であるか、現在も執着

それぞれが人間として自分らしい人生を歩むために、その途上にある邪魔なものはないか。何がバリアなのかを見つけて自分でそれを取り除くしかないと思います。そのためにも心身ともにスタミナをつけることです。つまりエンパワーメントですね。

心がけていることをお聞かせください。

『一人十色の人生へ』が motto です。人生80年。長い持ち時間を1人が十色を生きて仕事も生活も趣味も地域活動もいきいきと楽しみたい。

私は職業人として忙しい人生を生きてきましたが、趣味も多彩でダンスが大好き。学生時代は社交ダンス。10年前からフラダンスを習い始め、来年はハワイアンネーム（つまり名取り）がいただけることになっています。ゴルフも今年20年目。また、週1回柴崎体育館で水泳もしています。

フラダンスのよいところは魅力的な美しいスマイルをうかべて踊ることです。表情が大切なことです。外国へ行くときわがりますが、日本人は無表情ですね。特に男性が。女は度胸。男は愛嬌」というわけで、男性こそもっと表情をやらわらかく愛嬌をもつてほしい。

「一人十色」の生き方をすれば日本の社会も、もっといきいきと輝くでしょう。一人ひとりが輝いてこそ社会が輝くと思います。

アイム インフォメーション

アイムでは女性も男性も共にいきいきと暮らせる男女共生社会を築くために、さまざまな事業を実施しています。

開催

第5回マイメッセージ～5分間わたしの主張

女性が日常思うことや、仲間同士で議論していること、それらを5分間に凝縮して女性たちが語りかけます。もちろん男性の聴衆大歓迎です。ぜひおいでください。

日時 2002年1月26日(土)13:30～16:00

場所 立川市女性総合センター・アイム 5F 第3学習室

ゲスト 高橋 りりすさん

一人芝居 演目「リリスの足」



昨年のマイメッセージの様子

アイムフォーラム「家族のきずなってなあに？」

市民の実行委員会が企画・運営する「立川市アイムフォーラム」。今年のテーマは「家族」です。ご家族誘い合わせておいでください。

日時 2002年3月3日(日)13:30～16:00

場所 立川市女性総合センター・アイム 1F アイムホール

基調講演 深尾 凱子さん

「私らしくコミュニケーション」

シンポジウム 「家族の中で自分育て」

募集

「男女共同参画都市宣言」5周年記念事業 ジェンダーフリーになるために「ひとこと言わせて！」募集

「ジェンダーフリー」という言葉を知っていますか？ 女であるとか男であるとかは関係なく、自分らしく生きようとすることです。立川市は1996年10月2日「男女共同参画都市宣言」をしました。そこで5周年記念事業として、市民の皆さんから、身の回りの「ジェンダー」について日頃感じていることやご意見を募集します。

形式 ひとこと(100字程度) 標語、川柳、短歌など

応募締切 2001年12月28日(消印有効)

応募方法 住所・氏名・年齢・性別・電話番号を明記して、郵送(ハガキ可)またはFax、E-mailなどで

連絡先 〒190-0012 立川市曙町2-36-2

女性総合センター男女共生係

Fax042-528-6805

E-mail:tc-aim5@m-net.ne.jp

応募作品は当紙に掲載させていただきます。また2002年2月26日～3月3日にアイムギャラリーで展示します。(主旨にそわない作品などは掲載・展示しない場合があります。)

立川市消費者問題調査研究員募集のお知らせ

消費者問題に関する身近な問題について、一緒に調べたり、考えたりしてみませんか。

2001年度は「健康な生活を維持するための食生活」をテーマにグループ活動をしています。対象は市内在住の20歳以上の方。

活動期間 2002年4月～2003年3月(予定)

募集 20名

締切 2002年3月31日

謝礼はありません。男性も参加して活動しています。ご希望の方は女性総合センターまで直接お問い合わせください。

開設 たちかわ多文化共生センター(TMC)

2001年8月13日アイム5階事務所内に新たに開設されました。国籍や文化を問わず同じ市民として平等に暮らせるように、立川市内を中心に、ネットワークづくりをしていきます。

開設時間 月曜～金曜 13:00～17:00

外国人相談コーナーは毎週土曜日 13:00～17:00に開設しています。

連絡先 Tel.Fax 042-527-0310

